



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月1日

上場会社名 株式会社ドリームインキュベータ 上場取引所 東  
コード番号 4310 URL <https://www.dreamincubator.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 孝之  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 上村 敏弘 TEL 03(5532)3200  
四半期報告書提出予定日 2023年11月7日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,414	△87.2	△683	—	△688	—	△674	—
2023年3月期第2四半期	18,876	12.4	794	—	878	—	1,017	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △372百万円 (—%) 2023年3月期第2四半期 1,574百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△71.41	—
2023年3月期第2四半期	104.25	104.10

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	19,891	17,690	86.4
2023年3月期	31,310	21,917	68.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 17,187百万円 2023年3月期 21,441百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	0.00	0.00	0.00	191.11	191.11
2024年3月期	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 2023年3月期期末配当金の内訳 : 特別配当 191円11銭  
直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
2024年3月期の期末日配当予想につきましては、未定としております。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社グループのセグメントは、ビジネスプロデュース及びベンチャー投資から構成されております。ビジネスプロデュースは比較的将来の予測が立ちやすい一方、ベンチャー投資につきましては売上高の多くが株式市場における株式売却によってもたらされることから、株式市況やIPO動向に伴って振幅します。従いまして、現時点において業績予想を合理的に行うことが困難であるため、開示を控えさせていただきます。

なお、現時点で将来の業績を予想するのに有用と思われる情報を、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しておりますので、ご参照下さい。

#### ※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動： 無  
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	10,465,100株	2023年3月期	10,465,100株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,408,391株	2023年3月期	700,977株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	9,440,533株	2023年3月期2Q	9,756,807株

（注）当社は、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」を導入しております。BIP信託口及びESOP信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 営業の状況	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

(報告セグメントの変更等について)

第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度にアイペットホールディングス株式会社株式を売却したことに伴い「ペットライフスタイルセグメント」を廃止し、報告セグメントを「ビジネスプロデュースセグメント」と「ベンチャー投資セグメント」の2つとしております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等) II 当第2四半期連結累計期間 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照下さい。

### (1) 経営成績に関する説明

当社及び当社グループの当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は2,414百万円(前年同四半期比87.2%減)、経常損失は688百万円(前年同四半期は経常利益878百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は674百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,017百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

(ビジネスプロデュースセグメント)

ビジネスプロデュースセグメントでは、主に大企業向けの事業創造支援や成長戦略立案支援に関する戦略コンサルティング、M&Aファイナンシャル・アドバイザーの提供、及び社会課題を解決するための新たな官民連携の仕組みであるソーシャルインパクトボンド(SIB)を活用したファンド運営をしております。また、クライアントへの提供価値の更なる向上を目指して、新ブラクティスであるTechnology & Amplifyを本格始動しております。

クライアントの事業創造ニーズの高まりに加え、積極的なマーケティング活動に取り組んだ結果、新規プロジェクトの受注高は当第1四半期連結会計期間に引き続き好調に推移しております。一方で、新ブラクティスの立ち上げなどの業容拡大に対応するため採用を積極化したことにより人件費等も増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,088百万円(前年同四半期は1,701百万円)、セグメント利益(営業利益)は278百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)592百万円)となりました。

(ベンチャー投資セグメント)

ベンチャー投資セグメントにおいては、スタートアップ企業等への投資育成を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、トレードセールによるキャピタルゲイン等を実現した一方で、投資先3社の価値下落に伴い減損390百万円も計上いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は326百万円(前年同四半期は1,177百万円)、セグメント損失(営業損失)は437百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)362百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①連結貸借対照表

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末の31,310百万円に対して11,419百万円減少し、19,891百万円となりました。これは主として、配当金の支出や税金の支払により現金及び預金や有価証券(合同運用指定金銭信託)が減少したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末の9,393百万円に対して7,192百万円減少し、2,201百万円となりました。これは主として、税金の支払により未払法人税等が減少したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末の21,917百万円に対して4,226百万円減少し、17,690百万円となりました。これは主として、配当金の支出による利益剰余金の減少や自己株式の増加によるものです。

#### ②連結キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物は、期首と比較して3,503百万円減少し、6,759百万円となりました。これを活動別に記載しますと、以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、7,889百万円の支出となりました。これは主に、法人税等の支払によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、8,250百万円の収入となりました。これは主に、有価証券(合同運用指定金銭信託)の償還によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,896百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払及び自己株式の取得によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

#### (ビジネスプロデュースセグメント)

ビジネスプロデュースセグメントにおいては、事業創造へのニーズが旺盛であることに加え、将来の飛躍に向けて優秀な人材を前倒しで確保すべく積極採用を継続しており、当連結会計年度の売上高は中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）の4,800百万円を上回る見込みです。採用等の投資効果が追いついてくれば、従来のビジネスプロデュースのさらなる拡大が見込まれます。クライアントへの提供価値の更なる向上を目指した新プラクティスであるTechnology & Amplifyも本格始動しており、計画達成に向かって引き続き邁進してまいります。なお、計画の詳細については決算説明資料もあわせてご参照ください。

#### (ベンチャー投資セグメント)

ベンチャー投資セグメントにおいては、業績が株式市況等に伴い振幅することから、見通しは立てにくい状況が続くものと考えており、市況が長期的に低迷する等の状況に陥った場合は、投資先の評価減のリスクが見込まれます。なお、ベンチャー投資は引き続き簿価を上回る含み益を抱えており、中期経営計画にて掲げた縮小方針に基づき、引き続き適切なタイミングでの売却を進めてまいります。

(4) 営業の状況

(生産実績)

当社及び当社グループは生産活動を行っておりませんので、該当事項はありません。

(受注実績)

当第2四半期連結累計期間における受注実績は次のとおりです。

区分	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
ビジネスプロデュース	2,195	53.1
合計	2,195	53.1

- (注) 1 ベンチャー投資には受注という概念がございませんので、ベンチャー投資セグメントの受注実績は記載しておりません。
- 2 第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度にアイペットホールディングス株式会社株式を売却したことに伴いペットライフスタイルセグメントを廃止したため、当該セグメントについては記載に含めておりません。

(販売実績)

当第2四半期連結累計期間における販売実績は次のとおりです。

区分	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
ビジネスプロデュース	2,088	22.7
ベンチャー投資	326	△72.3
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
合計	2,414	△16.1

- (注) 第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度にアイペットホールディングス株式会社株式を売却したことに伴いペットライフスタイルセグメントを廃止したため、当該セグメントについては記載に含めておりません。

(投資実績)

証券種類	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)				当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)			
	投資実行高		期末投資残高		投資実行高		期末投資残高	
	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)
株式・出資金等	274	8	4,960	53	50	4	4,369	53
新株予約権等	—	—	—	4	—	—	—	3
合計	274	8	4,960	55	50	4	4,369	55

- (注) 1 新株予約権等は、当社コンサルティングサービスの対価として発行会社から無償で取得している場合がありますが、上表においては、その際の金額をゼロとし会社数のみを記載しております。
- 2 株式、新株予約権等を重複して投資を行っている会社があります。
- 3 市場価格のない株式等以外のものについては、取得原価を記載しております。
- 4 上表には余剰資金の運用目的の有価証券及び投資有価証券は含まれておりません。
- 5 期末において保有している新株予約権等を全て行使した場合の株式取得価額の総額は、以下のとおりであります。

前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間
98百万円	95百万円

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,397	6,913
受取手形、売掛金及び契約資産	1,074	1,339
営業投資有価証券	5,463	5,246
有価証券	13,800	5,300
投資損失引当金	△103	△103
その他	191	688
貸倒引当金	△24	△24
流動資産合計	30,800	19,360
固定資産		
有形固定資産	249	273
無形固定資産		
その他	8	7
無形固定資産合計	8	7
投資その他の資産		
投資有価証券	65	65
繰延税金資産	29	27
その他	158	157
投資その他の資産合計	252	250
固定資産合計	510	530
資産合計	31,310	19,891



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3	3
1年内返済予定の長期借入金	50	-
未払法人税等	6,158	53
株主優待引当金	19	-
賞与引当金	1	1
役員賞与引当金	240	-
その他	1,856	851
流動負債合計	8,328	909
固定負債		
繰延税金負債	124	273
株式給付引当金	939	1,017
その他	0	0
固定負債合計	1,064	1,291
負債合計	9,393	2,201
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,019	5,019
資本剰余金	4,548	4,548
利益剰余金	12,648	9,974
自己株式	△1,366	△3,301
株主資本合計	20,850	16,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	630	944
為替換算調整勘定	△39	1
その他の包括利益累計額合計	590	946
非支配株主持分	475	502
純資産合計	21,917	17,690
負債純資産合計	31,310	19,891

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	18,876	2,414
売上原価	10,755	1,933
売上総利益	8,121	481
販売費及び一般管理費	7,327	1,164
営業利益又は営業損失(△)	794	△683
営業外収益		
受取利息	11	11
固定資産売却益	30	-
為替差益	47	-
その他	7	2
営業外収益合計	97	14
営業外費用		
支払利息	5	0
支払手数料	1	11
為替差損	-	7
固定資産除却損	4	0
その他	1	0
営業外費用合計	13	19
経常利益又は経常損失(△)	878	△688
特別利益		
関係会社株式売却益	546	-
特別利益合計	546	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,425	△688
法人税、住民税及び事業税	636	36
法人税等調整額	△275	41
法人税等合計	361	78
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,063	△767
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	46	△93
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,017	△674

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,063	△767
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	454	353
為替換算調整勘定	56	41
その他の包括利益合計	511	394
四半期包括利益	1,574	△372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,505	△318
非支配株主に係る四半期包括利益	69	△53

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,425	△688
減価償却費	165	30
のれん償却額	26	—
支払備金の増減額(△は減少)	168	—
責任準備金の増減額(△は減少)	1,632	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	8	0
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△240
株式給付引当金の増減額(△は減少)	67	77
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△16	△19
受取利息及び受取配当金	△11	△11
為替差損益(△は益)	△48	0
固定資産売却損益(△は益)	△30	—
関係会社株式売却損益(△は益)	△546	—
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	578	654
有価証券の増減額(△は増加)	△793	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	23	△290
棚卸資産の増減額(△は増加)	5	—
未収入金の増減額(△は増加)	100	△3
仕入債務の増減額(△は減少)	0	△14
未払金の増減額(△は減少)	△44	△624
その他	△154	△901
小計	2,556	△2,031
利息及び配当金の受取額	12	16
利息の支払額	△5	—
法人税等の還付額	7	0
法人税等の支払額	△106	△5,874
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,464	△7,889
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△86	△154
定期預金の払戻による収入	140	134
有価証券の取得による支出	—	△1,500
有価証券の償還による収入	—	10,000
有形固定資産の取得による支出	△159	△226
有形固定資産の売却による収入	157	—
無形固定資産の取得による支出	△0	△3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	793	—
敷金及び保証金の差入による支出	△0	△0
敷金及び保証金の回収による収入	208	0
貸付けによる支出	△3	△2
貸付金の回収による収入	156	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,204	8,250

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	7	—
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△900	—
長期借入れによる収入	200	—
長期借入金の返済による支出	△647	△50
非支配株主からの払込みによる収入	33	—
投資事業組合等における非支配株主からの出資受 入による収入	149	106
投資事業組合等における非支配株主への分配金支 払額	—	△21
自己株式の取得による支出	—	△1,935
配当金の支払額	—	△1,995
その他	△5	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,161	△3,896
現金及び現金同等物に係る換算差額	71	31
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,579	△3,503
現金及び現金同等物の期首残高	12,810	10,263
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,389	6,759

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式707,700株の取得を行っております。この取得により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,935百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ビジネス プロデュース	ベンチャー投資	ペット ライフスタイル	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,701	1,177	15,998	18,876	18,876	—	18,876
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,701	1,177	15,998	18,876	18,876	—	18,876
セグメント利益	592	362	315	1,270	1,270	△475	794

(注) 1 セグメント利益の調整額△475百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社での営業活動に関わる費用及び一般管理費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ビジネス プロデュース	ベンチャー投資	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,088	326	2,414	2,414	—	2,414
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,088	326	2,414	2,414	—	2,414
セグメント利益又は損失 (△)	278	△437	△158	△158	△524	△683

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△524百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社での営業活動に関わる費用及び一般管理費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度にアイペットホールディングス株式会社株式を売却したことに伴い「ペットライフスタイルセグメント」を廃止し、報告セグメントを「ビジネスプロデュースセグメント」と「ベンチャー投資セグメント」の2つとしております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更前の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2023年5月11日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について次のとおり決議しております。

1. 自己株式の取得に関する取締役会決議の内容

- |                |                          |
|----------------|--------------------------|
| (1) 取得する株式の種類  | 当社普通株式                   |
| (2) 取得する株式の総数  | 1,500,000株(上限)           |
| (3) 株式の取得価額の上限 | 30億円(上限)                 |
| (4) 取得する期間     | 2023年5月12日から2024年3月31日まで |

2. 自己株式の取得の状況

上記の自己株式に関する取締役会決議に基づき、2023年10月1日から2023年10月31日までに当社普通株式198,700株(取得価額564百万円)を取得いたしました。